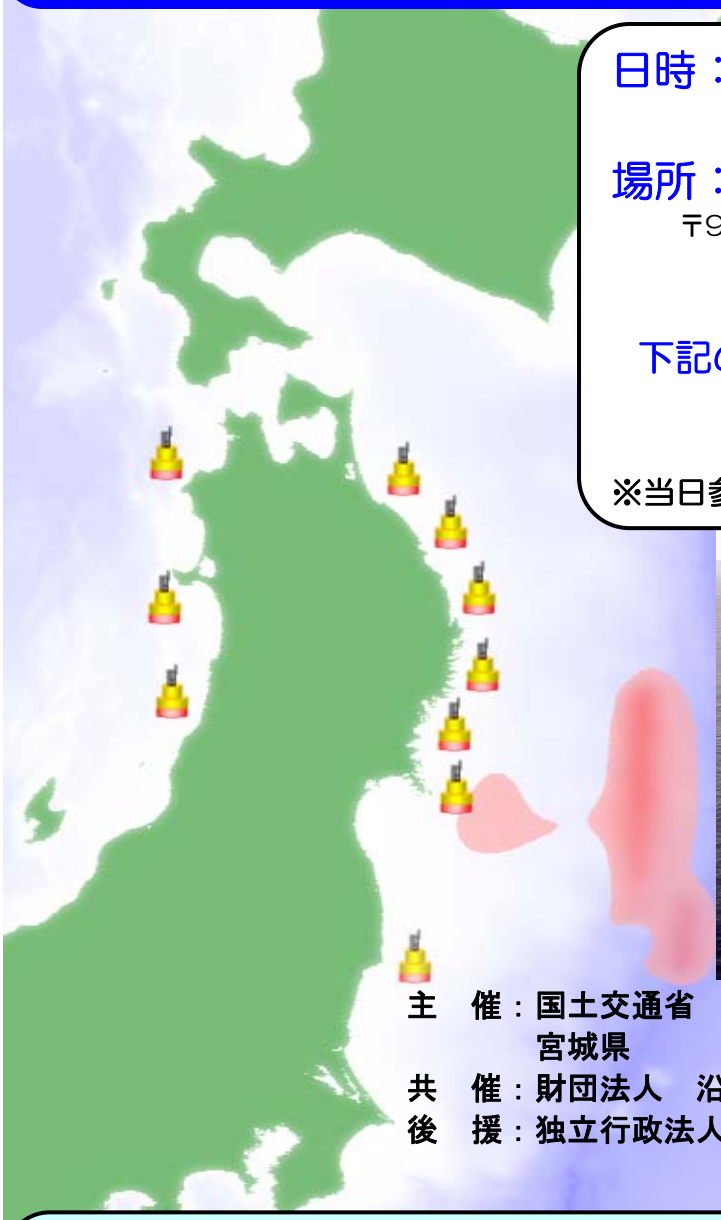
ＧＰＳ波浪計設置記念講演会ｉｎ宮城

ＧＰＳ波浪計の本格運用と津波・高波防災への活用に向けて
～　切迫する宮城県沖地震に備える　～

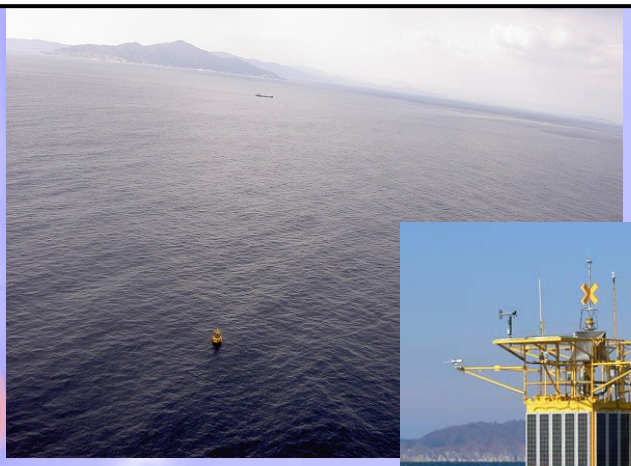


日時：平成２０年３月１５日（土）
１３：３０～１６：００

場所：宮城県　講堂（宮城県庁２階）
〒980-8570　宮城県仙台市青葉区本町３丁目８番１号

定員：２５０名（参加無料）

下記のホームページにて参加を受け付けます。
http://www.cdit.or.jp/
（財団法人　沿岸技術研究センター）
※当日参加も可





主　催：国土交通省　東北地方整備局
　　宮城県
共　催：財団法人　沿岸技術研究センター
後　援：独立行政法人　港湾空港技術研究所

講　演　者



宇宙技術を用いた
ＧＰＳ波浪（津波）計の開発

加藤　照之

東京大学　地震研究所
地震予知研究推進センター　教授



最近の津波災害の特徴と
宮城県沖地震津波への備え

今村　文彦

東北大学大学院工学研究科
附属災害制御研究センター　教授

津波防災技術研究の現状

高橋　重雄

独立行政法人　港湾空港技術研究所
津波防災研究センター長



ＧＰＳ波浪計を活用した
津波防災業務への支援

首藤　伸夫

日本大学大学院総合科学研究科　教授



プログラム

・13：30～13：45　【開会・挨拶】
・13：45～13：55　【ビデオ上映】東北におけるＧＰＳ波浪計による沖合波浪観測網整備
・13：55～14：20　【講演１】宇宙技術を用いたＧＰＳ波浪(津波)計の開発
　加藤照之　東京大学地震研究所地震予知研究推進センター教授
・14：20～14：45　【講演２】最近の津波災害の特徴と宮城県沖地震津波への備え
　今村文彦　東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター教授
　＊＊＊＊＊＊＊　休　　憩　＊＊＊＊＊＊＊
・14：55～15：20　【講演３】津波防災技術研究の現状
　高橋重雄　（独）港湾空港技術研究所　津波防災研究センター長
・15：20～15：45　【講演４】ＧＰＳ波浪計を活用した津波防災業務への支援
　首藤伸夫　日本大学大学院総合科学研究科　教授
・15：45～16：00　【質疑応答】会場の皆様からの質問をお受け致します。
・16：00　【閉会】

※都合により、プログラム・講師などが変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

開　催　主　旨

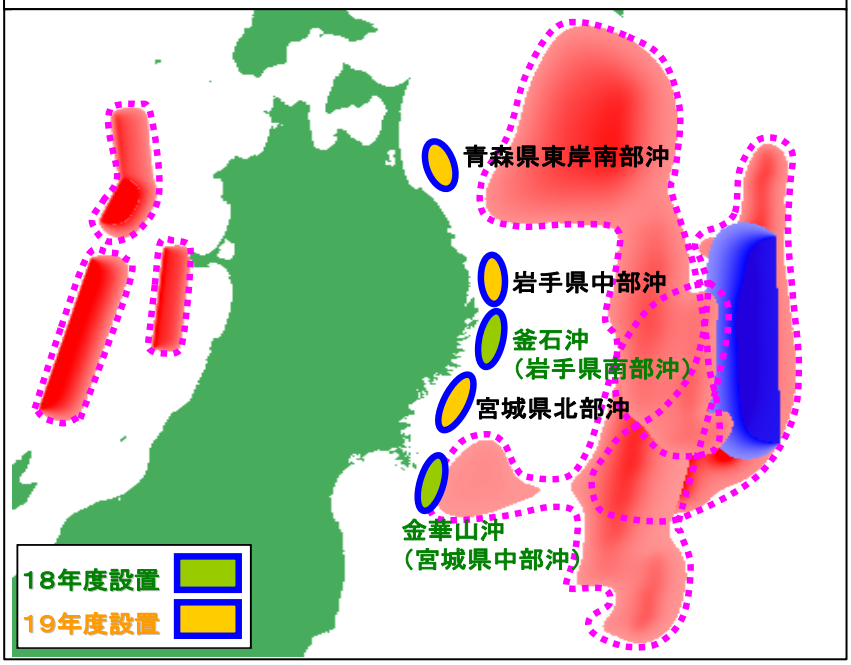
東北地方は、明治三陸地震津波、昭和三陸地震津波、チリ地震津波、日本海中部地震津波など、過去に多くの津波により被災しており、宮城県沖地震の発生が切迫する中、東北地方の津波対策は、急務となっています。

平成１９年、国土交通省　東北地方整備局は、沿岸域での津波・高波対策として、日本で初めてのＧＰＳ波浪計を東北沿岸域に２基設置しました。

ＧＰＳ波浪計の設置により、沿岸への津波襲来よりも前に、沖合での津波観測が可能となり、関係機関との連携を図ることにより、津波への迅速な対応に活用できるようになります。

本講演会は、これを記念し、ＧＰＳ波浪計による沖合波浪観測網の構築にご指導をいただいた学識者から、その開発経緯と津波防災業務への活用方策、更には、津波防災技術研究の現状や切迫する宮城県沖地震津波への備えなどについてご講演をいただき、自治体の防災担当者や一般市民の方々に、津波防災について理解を深めていただきたいと考えます。

東北地方のＧＰＳ波浪計の設置位置



お問合せ先

財団法人　沿岸技術研究センター
〒102-0092　東京都千代田区隼町 3-16　住友半蔵門ビル６Ｆ　TEL：03-3234-5862　FAX：03-3234-5877　E-mail：master@cdit.or.jp
イベントに関する最新情報はホームページでご確認ください。　http://www.cdit.or.jp/

宮城県庁へのアクセス



所在地：〒980-8570　宮城県仙台市青葉区本町３丁目８番１号

ＪＲ仙台駅からのアクセス

【徒　歩】　仙台駅西口→（約２キロメートル・約２０分）→県庁
【バ　ス】　「仙台駅前」→（約５分）→「県庁市役所前」下車
　→（徒歩約３分）→県庁
【地下鉄】　「仙台」駅→（約４分）→「勾当台公園」駅（北２番出口）
　→（徒歩約３分）→県庁

仙台空港からのアクセス

【鉄　道】　仙台空港駅→（約２０分）→ＪＲ仙台駅→県庁
【バス１】　仙台空港→（約４０分）→ＪＲ仙台駅→県庁
【バス２】　仙台空港→（バス・約１２分）→ＪＲ館腰駅
　→（ＪＲ東北本線・約１５分）→ＪＲ仙台駅→県庁